

保育目標：人間として生きる力を養い、心身ともに健康な子どもに育てる

うめもりざかほいくえん
名古屋市名東区梅森坂4丁目101番地
TEL (052) 702-8801
FAX (052) 702-8811
E-mail:
umemorizaka_h@fuji-fukushikai.or.jp
HPhttps://umemorizaka-hoikuen.jp

うめもりざかほいくえんだより

No.10 2024.1.15(月)



今年も笑顔あふれる楽しい日々を

園長 浅津奈都子



令和6年、新しい年が始まりました。この新しい年が、子どもたち、保護者のみなさまにとって素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

穏やかに始まった元旦でしたが、「能登半島地震」「羽田空港での航空機事故」とお正月気分が一変してしまうほどのことがおきました。「能登半島地震」ではたくさんの方が亡くなられお悔やみ申し上げますとともに、被害にあわれた方々にも心からお見舞い申し上げます。「航空機事故」においては旅客機の乗客乗員全員が無事避難との報告を聞き、胸をなでおろしました。元旦早々の大きなことに「私たちに何ができるか」を考えさせられ、月に一度の避難訓練、実際に起きることを想定しての訓練の大切さ、防災への取り組みを今一度考えていこうと思います。



さて、昨年5月に「新型コロナウイルス感染症」が5類になり、まだまだ感染症に対しては油断ができませんが、保育園の日常が戻ってきました。「夏まつり」「ハッピーフェスティバル」では子どもたちを真ん中にして、職員と保護者の方と共に時間を過ごせたことをとても幸せに感じました。毎朝、子どもたち、職員が全員集まる体操では今でも「ロックソーラン」やハッピーフェスティバルのフィナーレ「ポポポポポーズ」を楽しんでいます。ぶどう組さんのリレーブームはまだまだ続き、今ではれもん組も参加し、とまと組も見様見まねで走っています。楽しいことのブームがここまで続くことに感心しています。

これからもゲームもテレビもタブレットもないけれど、日常生活や一つ一つの小さな行事を大切に、今年度テーマに掲げた「大人が本気で面白い」笑顔いっぱい、楽しい日々を心がけ、保護者の方々と、子どものことを語り合い、共に育て合う、育ちあう保育園でありたいと願います。

お正月明け、一回り大きくなった子どもたちと楽しい話をいっぱいしていきます。
今年もよろしく願います。



保護者のみなさま

長い間お休みをして、ご迷惑ご心配をおかけしました。

1月9日より復帰しました。

どのクラスの子どもたちも大きくなっていることにびっくりしました！

「大丈夫？」「もう平気？」と優しく声かけをしてくれる子どもたちに喜びの日々です。

しばらくは短時間の勤務となりますが、これからもよろしくお願ひします。

鈴木真理子



2月の予定

2日(金) 豆まき

5日(月) 幼児身体測定

6日(火) 乳児身体測定

9日(金) とまと組

公開保育・クラス懇談会

14日(水) ぶどう組 保育まつり

16日(金) 誕生会

20日(火) 避難訓練

21日(水) ばなな組 クラス懇談会

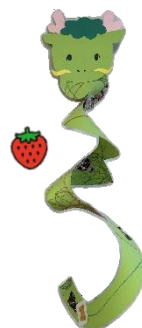
22日(木) さくらんぼ組 クラス懇談会

28日(水) もも組 クラス懇談会

29日(木) (幼児)縦割りの遠足 (2歳児)弁当散歩

(その他乳児)弁当

★コロナ、インフルエンザ等の感染状況により、開催日時・方法の変更の可能性もあります。その都度関係クラスに伝えますので、ご了承ください。



元日に起きた能登半島地震では、大きな被害があり、名古屋も長く揺れを感じました。

正月早々に衝撃的なニュースが続き、心を痛めるばかりです。

いつ、どこで起きかわからない地震には、日ごろからの備えや訓練が欠かせないことを改めて感じたことと思います。

また、29年前の1月17日は、阪神淡路大震災が起きた日です。

この機会に、家族みんなで家庭内の備蓄、災害時避難場所を確認し、避難訓練を行ってみるのも良いかもしれませんね。

＜覚えておきたいこと＞

・地震が起きたら、通路や出口の確保(建物がゆがみ、開かなくなる前に)をする。

・ブロック塀など崩れるもののそばには近寄らない。

・正しい情報を手に入れられるようにしておく(テレビ、ラジオ、SNSの公式アカウント等)。

嘘の情報に惑わされない。

内閣府
防災情報のページ



災害の備え
チェックリスト



子どもたちにもう一人保育士を

新聞報道にもされているようにこの間、「子どもたちにもう一人保育士を」の運動が愛知から始まり、全国に広がられました。4.5歳児の保育士の配置基準は75年間も変わらぬまま放置されており、私たちもこの運動に署名をするなど微かな協力をしてきました。

実行委員会の方たちのがんばりには頭が下がり、シンポジウムや街頭活動、国との交渉など粘り強い運動が成果を結び、政府の「こども未来戦略」の少子化対策の費用の中に「保育士の配置基準」の一部を来年度、見直すことが盛り込まれました。

子ども家庭庁は、保育の質を向上させるためとして、4.5歳児の保育士の配置基準を、来年度から「子ども30人に1人」から「25人に1人」に見直されることになりました。ただし、今回の見直しには正式な基準の見直しまでに経過措置が設けられています。手放しでよろこべないこともありますが、まずは一歩前進と捉え、私たちもこの運動に協力をしていきたいと思っています。